

医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院の 地域医療支援病院名称承認申請について（諮問）

I 審議案件

次の病院に係る地域医療支援病院の名称使用承認について諮問（川崎市長）

- ・医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院（神奈川県川崎市麻生区古沢字都古 255）

II 申請内容

1 病院の概要

- (1) 開設者の住所及び氏名
住所：福島県須賀川市南上町 123-1
氏名：医療法人社団三成会（理事長 渡邊 一夫）
- (2) 施設名称：医療法人社団三成会新百合ヶ丘総合病院
- (3) 施設所在地：神奈川県川崎市麻生区古沢字都古 255
- (4) 診療科目：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、代謝・内分泌内科、糖尿病内科、腎臓内科、透析内科、肝臓内科、神経内科、心療内科、精神科、小児科、新生児内科、内視鏡内科、ペインクリニック内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、血管外科、乳腺外科、内分泌外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科（40科）
- (5) 病床数：377床（一般病床 377床）

2 地域医療支援病院としての要件

- (1) 紹介患者に対する医療の提供
平成28年度の地域医療支援病院紹介率 67.1%、地域医療支援病院逆紹介率 48.5%
- (2) 共同利用の対象とする施設、機器等
PET-CT、MR、CT、SPECT、図書室、STR ホール、研修室、会議室、研究室
常時共同利用可能な病床数：8床
- (3) 救急医療の提供
救急告示病院
重症救急患者のための病床：専用病床 ICU 8床
救急用又は患者輸送用自動車：1台
- (4) 地域の医療従事者の資質の向上のための研修
設備：研究室（約 11.9 m²/室 19 室）
主な設備：キャビネット、デスク、パソコン、プリンター
研修室（66.7 m²）収容定員 42 名
主な設備：電子カルテ用 PC、プロジェクター
STR ホール（340.2 m²）収容定員 280 名
主な設備：天井備付プロジェクター、マイク、音響装置、録画装置
図書室（42.7 m²）
主な設備：蔵書数 約 3,500 冊（和書 1,090 種、洋書 143 種：書籍 417 冊、雑誌 2,985 冊）、オンライン電子ジャーナル 1 誌
内容：地域の医療従事者を対象とした研修会、症例検討会等
実施回数：19回

- (5) 病床数
377 床

Ⅲ 結論（案）

医療法人社団三成会新百合ヶ丘総合病院に係る地域医療支援病院の名称使用承認に
ついて承認する。

写

地域医療支援病院名称承認申請書

平成 30年 1月 16日

(宛先) 川崎市長 殿

住 所 〒962-0817

福島県須賀川市南上町123-1

氏 名 医療法人社団 三成会

理事長 渡邊 一夫



〔法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名〕

電 話 0248-63-7299 (代表)

次のとおり地域医療支援病院と称することについての承認を受けたいので申請します。

名 称	医療法人社団 三成会 新百合ヶ丘総合病院	電話	044-322-9991 (代表)			
所 在 地	〒215-0026 神奈川県川崎市麻生区古沢字都古 255					
病 床 数	377床					
病 床 種 別	精神病床	0床	感染症病床	0床	結核病床	0床
	療養病床	0床	一般病床	377床		

施設構造設備の概要 添付別紙1図面参照

室名等	設 備 概 要
集中治療室	<p>院内の名称: ICU 場所: 地下1階</p> <p>【施設基準】 特定集中治療室管理料3 受理番号:(集3)第116号 算定開始平成27年2月1日 (床面積) 284.05㎡ (病床数) 10床 (内8床・施設基準届出病床) (主な設備) ICUモニタリングシステム×10台、シーリングサプライユニット×10台、超音波診断装置×1台、血液浄化装置×2台、除細動器、シリンジポンプ、輸液ポンプ、人工呼吸器、ポータブルX線装置ほか 別紙1-1の通り</p>
化学検査室	<p>院内の名称: 検体検査室 場所: 地下1階</p> <p>(床面積) 76.12㎡ (主な設備) 臨床化学自動分析装置×2台、検体前処理分注装置×1台、純水自動製造装置×2台、全自動化学発光酵素免疫測定装置×2台、アンモニア測定装置×2台、自動血球計数測定装置×2台、全自動血液凝固測定装置×2台、血液沈降速度測定装置×1台、全自動尿分析装置×1台、全自動尿沈渣分析装置×1台、尿素呼気試験装置×1台、顕微鏡、遠心機、試薬用冷蔵庫、血液ガス分析装置ほか 別紙1-2の通り</p>
細菌検査室	<p>院内の名称: 細菌検査室 場所: 地下1階</p> <p>(床面積) 27.73㎡ (主な設備) 全自動血液培養装置、冷却遠心機、微生物感受性分析装置、乾熱滅菌器、顕微鏡、高圧蒸気滅菌器、インキュベーター、試薬用冷蔵庫、ほか 別紙1-3の通り</p>
病理検査室	<p>院内の名称: 病理検査室 場所: 地下1階</p> <p>(床面積) 105.7㎡ (主な設備)</p>



	ホルマリン槽付強制排気流し台、臓器撮影装置、凍結組織切片作製装置 バイオハザード対策用キャビネット、密閉式自動固定包埋装置 パラフィン熔融器、標本ブロック作製装置、フラン器、自動染色装置 薬用保冷庫、卓上小型遠心機、自動細胞収集装置、安全キャビネット マイクロトーム (リトラトーム)、パラフィン伸展器、標本ブロック加湿器 パラフィンブロック冷却装置、顕微鏡、ディスカッション顕微鏡ほか 別紙1-4の通り
病理解剖室	院内の名称: 解剖室 場所: 地下1階 (床面積) 61.3㎡ (主な設備) 臓器撮影装置、昇降式解剖台、ホルマリン環流装置、剖検器具・機材一式 解剖感染症対策強力吸引器ほか 別紙1-5の通り
研究室	院内の名称: 研究室 場所: 3階 (收容人員1名×19室) (床面積) 約11.9㎡ (1室当たり) ×19室 (主な設備) 各室キャビネット、デスク、パソコン、プリンターほか 全19室
講義室	院内の名称: 研修室 場所: 3階 (床面積) 66.7㎡ (收容定員) 42名 (主な設備) 電子カルテ用PC×2、プロジェクター×2 院内の名称: STRホール 場所: 3階 (床面積) 340.2㎡ (收容定員) 280名 (主な設備) 天井備付プロジェクター×3、マイク×4、音響装置、録画装置×1
図書室	院内の名称: 図書室 場所: 3階 (床面積) 42.7㎡ (蔵所数) 約3500冊 (和書1090種、洋書143種: 書籍417冊、雑誌2985冊) オンライン電子ジャーナル: 週刊薬事新報
救急用又は患者 搬送用自動車	ナンバー: 川崎800 す 1208 車種: 日産キャラバン救急車仕様 駐場所: 救急入口脇(図面の通り) 救急自動車使用届出確認書写し・車検証写し・車両写真: 別紙1-6の通り (保有台数) 1台 (主な設備) 心電図モニター、除細動器、吸引器ほか
医薬品情報管理室	院内の名称: 医薬品情報管理室 場所: 地下1階 専用室 (床面積) 22.3㎡ (主な設備) 電子カルテ、パソコン、プリンターほか

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

添付書類

- 1 紹介患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類
- 2 共同利用のための体制が整備されていることを証する書類
- 3 救急医療を提供する能力を有することを証する書類
- 4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することを証する書類
- 5 診療に関する諸記録の管理方法に関する書類
- 6 病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類
- 7 診療に関する諸記録の閲覧方法に関する書類
- 8 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類
- 9 医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の委員の就任承諾書及び履歴書

(様式第2) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	67.1%	算定期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	48.5%		
算出根拠	A：紹介患者の数		17,415人
	B：初診患者の数		25,917人
	C：逆紹介患者の数		12,592人

注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

地域医療支援病院紹介率に関する取扱いの考え方 (○を●で表記してください。)	
<input type="radio"/> 紹介率が80%以上	
<input type="radio"/> 紹介率が65%以上80%未満であるが、承認後2年で80%以上とする	※紹介率80%達成のための具体的な年次計画書が必要です。
<input checked="" type="radio"/> 紹介率が65%以上である、かつ、逆紹介率が40%以上	
<input type="radio"/> 紹介率が50%以上であり、かつ、逆紹介率が70%以上	

※紹介率80%達成のための年次計画書					
1 紹介率80%達成のための具体的対策					
2 年次目標数値					
年度区分(平成)	紹介患者数	緊急入院患者数	初診患者総数	目標紹介率(%)	増加見込み(%)

別紙2-1,2の通り

別紙2-3 平成29年度4月～10月まで紹介・逆紹介率(参考)